

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年四月度 入選句（投稿総数千九百四十九句・一般投句数七百七十五句）

特選

たんぽぽやたんぽぽ組は皆元氣

大垣市

本郷 陽子

たんぽぽ組にすみれ組ひまわり組にさくら組、みんなよい子でみな元氣、けれどもたんぽぽ組がいちばん元氣に思えるのは、うちの子がいるからです。こうゆうのを親ばかちゃんりんつていうそうですがご免なさい。たんぽぽ組つてほんとみんな元氣な子多いんです。

たらひ舟花屑のせて戻りけり

静岡県浜松市

松村 智美

大垣のお城伝説から水の都大垣に誕生した 盃舟、花の下をゆらりゆらりと流れ行くは至福の花見です。

花屑を積んだまま戻つて来た舟は正に兵たちの夢の跡です。これからその舟に乗る人たちの夢をかきたてる姿でのご帰還です。花の下に行くは最高の贅沢ですが緑の下、紅葉の下などもまたよきかなです。是非ご試乗をお奨めいたします。

伊吹嶺の見えて十万石の春

三重県桑名市

森 美音

戸田十万石のご城下は靈峰伊吹を後に控え明光風眉の地です。この地に住む人たちは、朝な夕な伊吹山の表情をみて生活を為しそして励み励まされる存在です。十万石の春 というフレーズに 彼の子規の生地松山駅前句碑、春や昔十五万石の城下哉 を思い起こしました。

秀逸

相々傘大方濡れて花の雨

三重県津市

宮本 充子

春の川ふくらむ夢を映しけり

大垣市

山田 千歌子

初蝶やべんたう箱の蝶むすび

大垣市

佐藤 すみ子

初桜工事場の声威勢よし

大垣市

末守 節子

うれしさや春のひかりを手にすくひ

愛知県名古屋市

笹木 和子

よもぎつむあふれるほどの匂ひかな

大垣市

平野 きぬよ

野の道をゆけば星屑犬ふぐり

大垣市

多和田 一徳

校庭に戻る静けさ夕桜

安八郡神戸町

高橋 日出美

桜餅ふたり知足の余生かな

福井県福井市

三ツ山 ひろし

退職の部屋に残してシクラメン

三重県伊賀市

中森 里江

入選

数珠かけて泣く児笑ふ児仏生会
欄干の見え隠れして花の中
梵鐘の長き間合いや春の暮
あれそれで通じる二人木瓜の花
堰落つる音まるやかに春の水
春雨にけぶりて遠し伊吹山
春愁や一人暮しの長電話
鳶職の太きズボンや春の風
卒業式毎日笑った通学路
風光る海を駆けゆくヨットの帆
淀みては流るる岸辺春の川

大垣市	秋山 くに子
三重県桑名市	森 美音
大垣市	今津 正元
大垣市	吉田 てるみ
安八郡神戸町	高橋 泰
安八郡神戸町	高橋 日出美
大垣市	久富 キヌエ
大垣市	村田 通夫
大垣市	谷 彩虹
大垣市	高田 雅章
滋賀県甲賀市	甲賀 忍者

入選

花筏コイが顔出す舟下り
貰はれて行くピアノ拭く春休み
蒨味噌や生涯ぬけぬ美濃訛
春の雨鳩の寄り来る天守閣
僻事も些事も受け容れ老桜
たらひ舟棹ゆるやかに花の下
産土の閉校式や春の雨
三島池逆さ伊吹や木の芽風
ふり返る卒業生の笑顔かな
青き踏む鞆に地図と握り飯

大垣市	竹中 昌子
大垣市	町野 眞佐子
大垣市	棚橋 みさを
茨城県守谷市	喜多 杜子
岐阜市	堀江 美州
大垣市	傍島 豊子
三重県伊賀市	中森 里江
安八郡神戸町	斎藤 美津子
大垣市	中井 君子
神奈川県横浜市	龍野 ひろし

選者吟

どの鳥も水平に飛び花終る